

福島県の農作業事故は多いのか？



11月になりました。11月は「食物月（おしものつき）」とも呼ばれるように、収穫した農作物を祝う季節です。秋作業も徐々に落ち着きつつあるのではないのでしょうか。

今回は、農作業安全研修会などで質問に挙がる「福島県の農作業死亡事故って多いの？」ということについて考えてみます。

まず、最近5年間の各都道府県の農作業死亡事故件数の合計を比較してみると、1位：北海道（96件）、2位：福島県（79件）、3位：鹿児島県（78件）、4位：熊本県（78件）、5位：千葉県（67件）、となっています（*1）。

福島県の農作業死亡事故の件数は、全国ワースト2位となっているのです（!）。

しかし、この5道県をよくよく見ると、どれも農業が盛んなところだと判ります。農業で働く人が多ければ、農業の事故が多くなるのは自明かもしれません。

そこで、就業人口を踏まえて、農作業死亡事故の年間発生頻度を算出してみると、福島県の農業の就業人口10万人あたりの死亡事故件数は、16.9件（注）となります（*1）。

これは、最近5年間の当事故件数が全て公表された27道県中、15番目に高い数字です。つまり、**福島県の農作業死亡事故の発生頻度は、突出して高いわけではないのです。**

ただ、やはり安心できる数字ではありません。上述の数字の見方を変えると、「**福島県では約6,000人に1人が農業で亡くなっている**」という計算になります。

労働災害では、約100,000人に1人が亡くなる程度、交通事故では、約10,000人に1人が亡くなる程度です（*2）。

農作業事故の多さを、都道府県で比べている場合ではないのかもしれませんが。

（注）ここでは、平成22年から平成26年の農作業死亡事故件数の平均値を、平成22年と平成27年の農業就業人口の平均値で割っているため、参考値として算出しています。

参考資料：（*1）農林水産省調べ、（*2）石田敏郎「交通事故学」